



世界の中の  
PILOT

## 南アフリカ編

Pilot Pen South Africa (Pty) Ltd.

アフリカ大陸最南端に位置し、温暖な気候と豊かな自然を有し、アフリカ最大の経済大国である南アフリカの拠点Pilot Pen South Africa (Pty) Ltd.について紹介します。



当社の南アフリカ販売会社であるPilot Pen South Africa (Pty) Ltd.は1998年に設立され、経済の中心地ヨハネスブルクに本社兼倉庫を構え34人の社員と共に、周辺国を含めた南部アフリカで販売活動を行っております。

ゲルインキボールペンの『G-2』、『フリクション』シリーズ、ホワイトボード用マーカーの『Vボードマスター』など付加価値の高い製品と、強力なプロモーション活動、一貫した店頭づくりによりブランド価値を高め、右肩上がり成長を続けております。

販売会社設立当初は富裕層を中心としたプレミアム層への販売で売上を伸ばす一方で、2010年代からは拡大する中間所得層開拓にも着手しました。低価格のボールペン『BPT-P』や『PILOT BP-1』を武器に、アパートヘイト(人種隔離政策)時代に形成されたタウンシップと呼ばれる中間所得層が多く住む地域へペンを持ち込み、小さな商店や学校を一つずつ訪ねては地道に商品を根付かせ、将来のパイロットファン獲得に努めております。

また、南アフリカ周辺国への輸出においても、既存の顧客との関係を強化し売上を伸ばしつつ、新規開拓国でのビジネス

が始まるなど、不安定な市場が多い国々でありながらも着実に成長を遂げております。

今後もPilot Pen South Africa (Pty) Ltd.は、プレミアム品と低価格品で幅広い層にアプローチしながら、更なるシェア向上に努めてまいります。



証券コード：7846

# 第24期 中間株主通信

株式会社パイロットコーポレーション

2025年1月1日から2025年6月30日まで



# トップメッセージ

株主の皆様へ

## 「人と創造力をつなぐ。」

「2030年ビジョン」実現に向けて、筆記具事業の海外展開強化と、新たな事業の創出を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、平素より当社事業に対し格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当中間期における経済環境は、国内においては、物価高を背景に個人消費に足踏みも見られましたが、所得環境の改善に支えられ、景気は緩やかに回復しております。海外においては、欧米における物価高の継続や長引く中国経済の低迷に加え、米国の関税政策の影響等もあり、世界経済の先行きは依然不透明

な状況が続いております。

このような環境の下、当社グループにおきましては、売上高は、海外における新学期商戦は概ね好調に推移し、アジア地域はインド子会社の新規連結が売上増に貢献したものの、為替円高換算の影響もあり前年同期比で減収となりました。一方、営業利益は、売上総利益の増加により、前年同期比で増益となりました。

現在、当社グループは、2025-2027中期経営計画（以下、「本中計」という。）で掲げた、変化に適應する



代表取締役社長 藤崎 文男

グループ経営基盤の強化「絶え間なき進化」を着実に実行し、中長期ビジョン「パイロットグループ2030年ビジョン」の実現に向けグループで一丸となって、経営課題に対して「優位性のある新製品の創出・投入」や「インド・アセアンへの製品投入」、さらには、「玩具事業の海外展開」、「新しい価値の創出に向けた挑戦」等に取り組んでおります。

上記を含む本中計で掲げた主要な各アクションを実行する中で、事業活動によって創出されるキャッシュを成長投資や株主還元へ適切に配分し、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

株主還元方針については、本中計において総還元性向を50%以上とすることを目標としておりましたが、これに加えて新たに累進配当（減配せず、配当の維持若しくは増配を行う配当政策）を導入することと

いたしました。また、本年6月より株式の取得価額の総額60億円を上限とする自己株式の取得を実施しており、2025年12月期中間配当についても、配当予想より1株当たり1円50銭増配の60円00銭といたしました。引き続き株主還元を強化してまいります。さらに、株主の皆様より多くの反響をいただく株主優待制度については、より魅力的な製品をお届けできるよう、引き続き注力してまいります。

当社グループは、パーパス「人と創造力をつなぐ。」の下、PILOTの企業価値をさらに向上させ、皆様のご期待に沿うべく、邁進する所存でございます。株主の皆様におかれましては、今後とも末永くご支援ならびにご指導賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2025年9月

### 財務ハイライト(連結)

売上高	649億 64百万円	経常利益	116億 15百万円
前年同期比	99.0%	前年同期比	91.6%
営業利益	117億 70百万円	親会社株主に 帰属する中間純利益	76億 60百万円
前年同期比	118.3%	前年同期比	85.8%

中間配当金	60.00円
期末:	60.00円 (予想)

## トップインタビュー

### Q 「2025-2027中期経営計画」について 計画の骨子や策定の背景などを教えてください。

A 本中計では、2022年に掲げた2030年ビジョンを変えることなく、グローバル筆記具市場No.1のポジション確立、非筆記具事業を第2の柱として成長すること、環境・社会・従業員への価値提供を進めることに引き続き取り組んでまいります。

特に、グローバル筆記具市場でのシェアアップと非筆記具事業の成長は、パイロットグループの持続的な成長とステークホルダーの皆様への還元の根幹となるものと考えております。そのため、当社グループが一体となり各社の持つ強みを集結し力を発揮できるように、グループ経営の推進に一層注力すべきと認識しております。

本中計では、前中計で認識した課題を含め、主力事業である筆記具事業の海外展開強化と、新たな事業の創出し、「2030年ビジョン」実現に向けて、「変化に適応するグループ経営基盤の強化」を進めるフェーズと定め、「絶え間なき進化」を遂げてまいります。

### Q 具体的なアクションについて教えてください。

A 筆記具事業においては主要な米州、欧州、アジアでの新製品の投入と既存商品の安定供給をより最適化していくために、サプライチェーンマネジメントにも取り組んでまいります。最適化による効果は、製造・販売だけにとどまらず、利益面での貢献も生むと考えております。

また、成長市場として、現状人口が多く、今後も人口が増加することが予測されるインド・アセアンの強化に取り組めます。既存の主力製品によるシェアアップ、売り上げの増大に加え、マーケットインでの製品開発を強化し、市場の創出や需要の掘り起こしにも力を入れてまいります。また、この取り組みで得られる知見は、今後進出する成長市場にも応用することで、継続的な利益獲得を目指してまいります。

一方、現在は成長基調の国・エリアも、長期の視点では市場の成熟と人口の減少を織り込む必要があり、筆記具事業以外の育成も、急務となっております。本中計で取り組む課題として挙げた玩具事業は、販売先を海外市場に広げてまいります。玩具事業はメタモカラー（温度変化で色が変わるインキ。筆記具ではフリクションに应用されている。）の応用から始まり、知育玩具やバストイなどに領域を拡大して発展してきた歴史があります。他にも当社がこれまで培ってきた技術には筆記具以外に应用が可能なものがあり、中でもセラミックス製造や合金製造・加工の技術が伸長しております。技術的なコアをしっかりと持ち、かつ応用して、第2の柱に留めず、多面的な経営に取り組んでいきたいと考えております。



パイロットグループ パーパス

### 人と創造力をつなぐ。

伝える、考える、学ぶ、遊ぶ、生み出す人を、支えよう。  
独自の技術とアイデアで、人の創造する力を自由に届けよう。  
一人ひとりの人生に、知的な喜びと、文化的な体験を届けよう。

パイロットグループ 2030年ビジョン

### 世界中の書く、を支えながら、書く、以外の 領域でも人と社会・文化の支えとなる

これまでの100年と同様、これからの100年も  
筆記具を通じて世界中の書く、を支え続ける  
この100年で培った“書くから派生した技術”を活かすことで、  
外部環境の大きな潮流に対応し、  
筆記具以外の領域でも人と社会・文化の支えとなる

- グローバル筆記具市場No.1
- 非筆記具事業を第2の柱として成長
- 環境・社会・従業員への価値提供

# PILOTの創造のLAB(ラボ) 未来創造実験室 **PILABOT**

筆記具をつくり続けてきたパイロットのパーパス「人と創造力をつなぐ。」に基づき、「創造ってなんだっけ?」をキーワードに、既存の概念にとらわれない新しい取り組みを発信していく場として生まれたのが未来創造実験室「PILABOT」です。

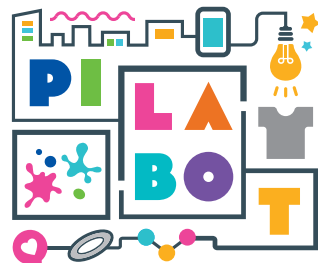
これまでの事業領域にとどまらない新規事業を生み出すチャレンジを行う場所として、商品の販売やコミュニケーションなどを行っております。

「PILABOT(ピラボット)」へはこちらから▶  
<https://www.pilabot.jp/>



## もっと知りたい! PILABOT

パイロットの未来創造実験室



Q PILABOTって  
どんな意味?

A. PILABOTは、PILOTの中にある創造の実験室(LAB=laboratory)という意味を込めてネーミングしました。



Q PILABOTは、  
どんな活動をしているの?

A. PILABOT内の「みよっと!ブログ」というコーナーで、メンバーたちの日々の取り組みをお伝えしております。ぜひご覧ください。

<https://www.pilabot.jp/blog/>

## PROJECT

# PILABOTのプロジェクト

「書く」を超え、未来の創造の種や新しい価値を生み出すための組織「未来創造室」が2023年に発足しました。「未来創造室」では新規事業の開拓につながる「創造の種」を生み出し、実際のモノ・コトにつなげることを目指しており、これまで複数の企画を立ち上げております。

## YUDANGI

### YUDANGI(ユダンギ)

筆記具同様、身近な日用品であり愛用品となりうる衣服に焦点を当て、「創造のための日常着」をコンセプトに「YUDANGI」を開発、リリースしています。思わず「油断」してしまうほど着心地が良いのに、仕事や家庭など、生活の様々な場面にも合う、シンプルで確かな品質にこだわった衣服です。



現在未来創造室ではこうした創造を一層育むデジタルプラットフォーム PILABOTを起点に、技術力・構想力を有する社内関係部署との連携や、社外パートナーとの協業を進めております。

## Cotobable

コトバブル

### Cotobable(コトバブル)

「自分らしい手書きには、人の心を動かす力がある。」という思いのもとアプリ開発を行いました。スマートフォンのカメラを通じて、目の前の空間(AR空間)に、手書きメッセージを書いて伝え合う、新感覚のコミュニケーションアプリをリリースしました。



# トピックス

## 蛍光ペン『キレーナ』が「文房具屋さん大賞2025」大賞を受賞

“文房具のプロ”たちにより選出される「文房具屋さん大賞2025」(株扶桑社主催)において、約1,000点のノミネートアイテムの中から、蛍光ペン『キレーナ』が大賞を受賞しました。

『キレーナ』は、きれいに整理されたノートや教科書で学習意欲を高めたいという学生のニーズに応えた新しい蛍光ペンです。蛍光ペンの不満点である「まっすぐな線を引きにくい」、「書いた文字の上から線を引くと筆跡がにじんだり、ペン先が汚れる」、「インキの乾きが遅い」などの問題点を解消するため、新開発の「キチントガイド」と「速乾顔料インキ」を搭載しました。

『キレーナ』という商品名は、「きれいな線が引けることによって、紙面も心も整う」というコンセプトから名付けられました。

大賞受賞以降、テレビや雑誌など、多くのメディアに取り上げられています。



## 平塚事業所 新棟稼働

当社平塚事業所(神奈川県平塚市)にて生産棟2棟(ボールペンレフィルー貫生産棟、ボールペン組立棟)、試作棟、及び物流棟が、本年2月より稼働を開始しました。新棟は、製品の安定供給と海外市場でのさらなる事業拡大を実現することを目的として増築し、製品の増産体制と開発体制の強化、物流体制の強化・効率化、及びBCP対策の充実を図ります。これにより平塚工場では万年筆を始めとする高価格筆記具に加え、低価格ボールペンの生産もスタートしました。また、サステナビリティにも取り組みながら、グローバル市場における競争力の向上を目指します。



## 企業情報サイト公開のお知らせ

当社ホームページの一部をリニューアルし、新規に「企業情報サイト」を公開しました。最新の企業情報、IR情報、サステナビリティ情報など、皆様の役に立つ情報を、日本語と英語でご覧いただけます。今後もコンテンツを充実させ、皆様にとって有益な情報を提供してまいります。

パイロットコーポレーション企業情報サイト  
<https://corp.pilot.co.jp/>



▶英語サイト



▲日本語サイト

## 玩具事業 ニュース 世界初メルちゃんコンセプトルーム「メルちゃんなかよしルーム」がホテルグリーンプラザ軽井沢に2025年7月4日オープン

宿泊ルームはメルちゃんのデザインとなり、メルちゃんの世界観をたっぷり味わえるコンセプトルームとなっております。大好きなメルちゃんと一緒に、とびきりキュートなホテルステイを体験できます。

現在メルちゃん累計販売数1,000万体制記念イベントのほか、玩具販売店でグリーンティングやおそろいドレスの撮影会等のイベントが順次開催中!

▼軽井沢おもちゃ王国のオフィシャルホテル「ホテルグリーンプラザ軽井沢」に登場!



▼ファンタジーキッズリゾート港北に「メルちゃんなかよしタウン」が2025年7月5日より期間限定開催(神奈川県横浜市)



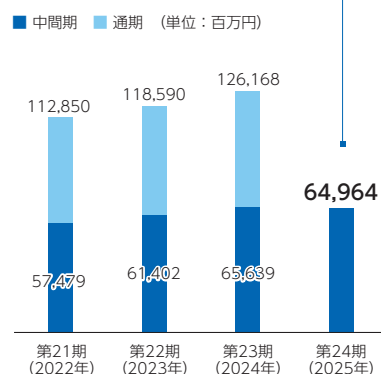
メルちゃん公式ホームページ  
 メルちゃん | パイロットのおもちゃ  
<https://mellchan.com/>



# 連結財務ハイライト

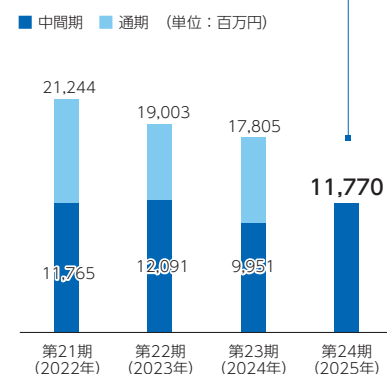
## 売上高

64,964百万円 (前年同期比99.0%)



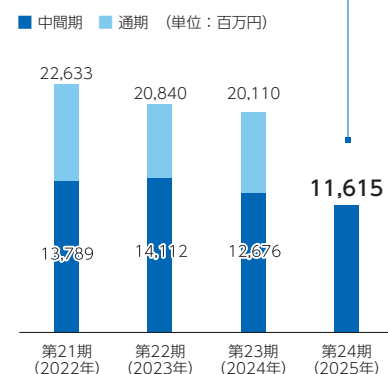
## 営業利益

11,770百万円 (前年同期比118.3%)



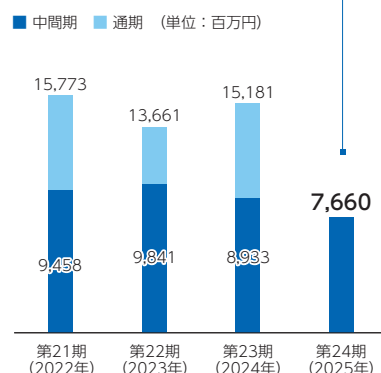
## 経常利益

11,615百万円 (前年同期比91.6%)



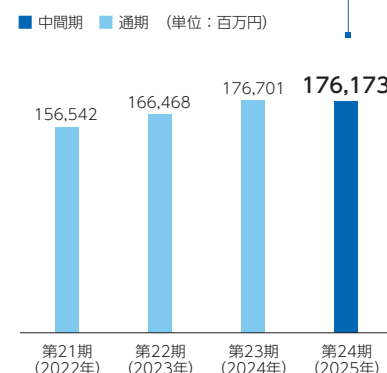
## 親会社株主に帰属する中間純利益

7,660百万円 (前年同期比85.8%)



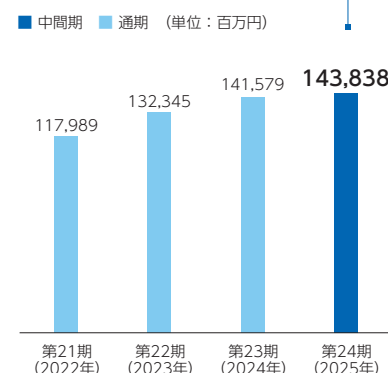
## 総資産

176,173百万円 (前期末比99.7%)



## 純資産

143,838百万円 (前期末比101.6%)



詳細な財務情報は、当社ウェブサイトIR情報をご覧ください。 アドレスはこちら ▶ <https://corp.pilot.co.jp/ir/>

# セグメント別の状況

## 日本 176億80百万円

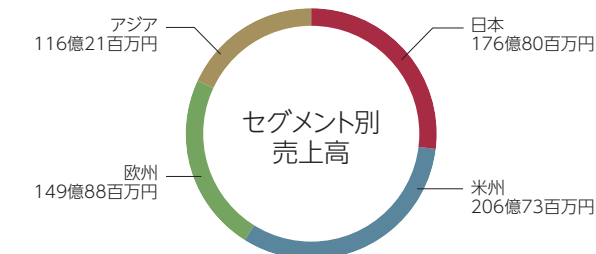
ステイショナリー用品事業において、国内では、引き続き、高級木軸シャープペンシル「S20(エストゥエンティ)」が好調な販売成果を収めたほか、当社独自のペン先であるシナジーチップを採用したゲルインキボールペン「ジュースアップ」シリーズもヘラルボニー社等とのコラボレーションが好調に推移しました。また、昨年10月に発売以降、好調を維持している蛍光ペン「KIRE-NA(キレーナ)」はワンプライスショップでの展開も開始しました。しかしながら、前年同期は「フリクションシナジーノック」や油性ボールペン「アクロボール」の新製品効果が大きかったことから、国内売上は減少しました。また輸出においても、売上は減少しております。これは主に、Pilot Pen (Malaysia) Sdn. Bhd.及びPPIN Private Limitedを新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来、日本セグメントに含まれておりましたマレーシア及びインド向けの売上が、アジアセグメントに含まれたことによるものです。

玩具事業においては、主力商品である「メルちゃん」シリーズや「おふろのおもちゃ」シリーズが、4月からの値上げの影響により、売上は減少しました。産業資材・その他事業においては、産業資材事業の主力であるセラミックス製品の受注が回復し、増収となりました。

セグメント利益は、在庫水準の最適化に向けて、一時的に連結子会社向けの売上高が減少し、主要製品の生産数量減少等に伴う原価率の上昇により減益となりました。

## 米州 206億73百万円

米国市場のゲルインキボールペン市場でトップシェアを維持している主力製品である「G-2(ジーツー)」及びブラジル市場におけるホワイトボード用マーカー「Vボードマスター」の販売は堅調に推移しましたが、円高の影響により減収となりました。セグメント利益は、主に原価率の低下により増益となりました。



## 欧州 149億88百万円

欧州地域につきましては、欧州市場での主力製品である「フリクション」シリーズに、再生プラスチックを使用した「フリクションボール+(プラス)」も加わり、売上は伸長しました。また、新学期商戦に向けて、5月からは日本の人気アニメとのコラボレーションによる「フリクション」と「G-2(ジーツー)」の拡大プロモーションを実施し、売上拡大を図っております。しかしながら、円高の影響により減収となり、セグメント利益は、主に原価率の上昇により減益となりました。

## アジア 116億21百万円

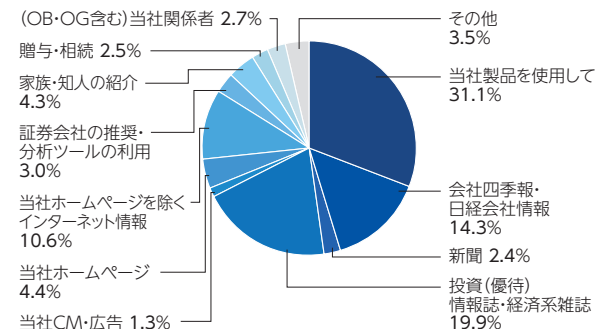
アジア地域につきましては、中国において景気低調は継続しておりますが、中国市場での主力製品であるゲルインキボールペン「ジュース」シリーズは好調に推移しました。また、Pilot Pen (Malaysia) Sdn. Bhd.及びPPIN Private Limitedを新たに連結の範囲に含めたことに伴い、従来、日本セグメントに含まれておりましたマレーシア及びインド向けの売上が、アジアセグメントに含まれたことにより、セグメント全体は増収増益となりました。

# 株主様インフォメーション

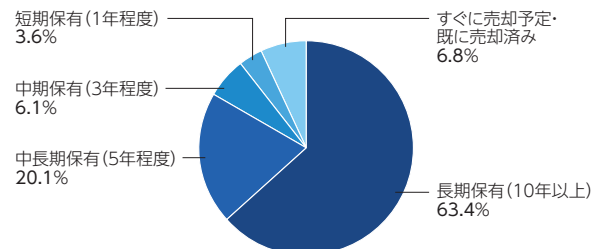
## 株主様アンケート結果のご報告

前回の株主通信送付時に同封いたしましたハガキアンケートにご回答いただきましてありがとうございました。頂戴いたしました貴重なご意見は、今後の参考とさせていただきます。

### Q 当社株式を取得したきっかけをお聞かせください(複数回答可)



### Q 当社株式の今後の保有方針についてお聞かせください(1つだけ)



## 株主様からのメッセージ

経営、財務ともに安心できます。今後もどんどん成長して下さい。

フリクションを愛用しています。「書く」+α、どんな付加価値がつかのか、期待しております。

製品開発、楽しみにしています。みんなが笑顔になれるように!

日本の筆記用具の品質は世界一と認識しています。さらなる成長のポテンシャルを秘めていると思います。

万年筆をはじめ、文具を愛用しています。AI化の進む現代ですが、文字を書く文化を大切に継続していただきたい。

長年グランセの万年筆を使っています。デザインも洗練されていて文字を書く楽しみを味わえる一本だと思います。これからもよい製品を作ってください。

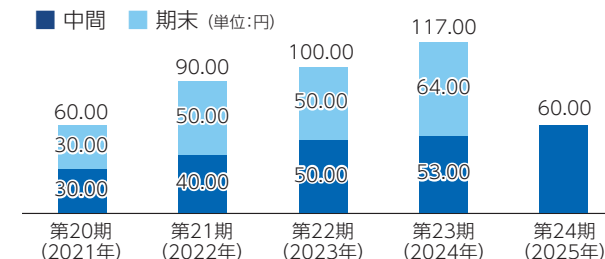
企業広告2024のキャッチフレーズが良い。株主であることを誇りに思える会社です。これからも応援しています。

本誌13ページにご案内しておりますWebアンケートにもぜひお答えください



## 配当金について

当期の中間配当については、普通株式1株につき普通配当60.00円(支払総額2,301百万円)となります。



## 配当金のお受取り方法について

中間配当金領収証による配当金の払渡期間は2025年9月1日から2025年9月30日までとなっております。  
口座振込をご指定されていない株主様は、同封の中間配当金領収証をご持参の上、お近くのゆうちょ銀行全国本支店及び出張所並びに郵便局(銀行代理業者)にてお早めにお受取り願います。

### お受取り期間を過ぎたら...

お受取り期間を過ぎますと、ゆうちょ銀行、郵便局でのお受取りはできません。中間配当金領収証の表面の受領印欄にご押印の上、三菱UFJ信託銀行の本支店の窓口でお受取りになるか、中間配当金領収証の裏面記載の送金方法欄に必要事項をご記入の上、三菱UFJ信託銀行 証券代行部までご郵送ください。

### 口座振込などのご指定をおすすめします

配当金領収証による配当金のお受取りは、お忘れになることもありますので、安心・確実な口座振込などによるお受取りをおすすめいたします。

### 配当金領収証を紛失されたら...

三菱UFJ信託銀行 証券代行部までご連絡ください。その際には、お支払の手続きにお時間を要しますので予めご了承ください。

# 会社概要 (2025年6月30日現在)

## ≡ 商号・本社所在地等

商号	株式会社パイロットコーポレーション (PILOT CORPORATION)	創立年月日	1918年1月27日
本社所在地	〒104-8304 東京都中央区京橋二丁目6番21号	設立年月日	2002年1月4日
電話番号	03-3538-3700 (代表)	資本金	2,340,728,000円
		従業員数	1,111名

## ≡ 役員

### 取締役 (監査等委員である取締役を除く)

代表取締役社長	藤崎文男
代表取締役	小平岳志
取締役	横山和彦
取締役	畑野且昌
社外取締役	村松昌美
社外取締役	柴田美
社外取締役	河野弘

### 監査等委員である取締役

取締役	雑村吉浩
社外取締役	神山敏潔
社外取締役	藤田嗣

### 執行役員

社長執行役員	藤崎文男
専務執行役員	小平岳志
上席執行役員	横山和彦
上席執行役員	畑野且昌
上席執行役員	和田好夫
上席執行役員	小池智夫
上席執行役員	千賀邦行

執行役員	横井秀雄
執行役員	北條純一
執行役員	小城真志
執行役員	湖務雅行
執行役員	宰川伸俊
執行役員	長谷川幸淳
執行役員	寺田治信
執行役員	川島俊二

# 株式の状況 (2025年6月30日現在)

## ≡ 株式の状況

発行可能株式総数	180,000,000株
発行済株式の総数	40,905,200株
株主数	15,026名
大株主 (上位10名)	

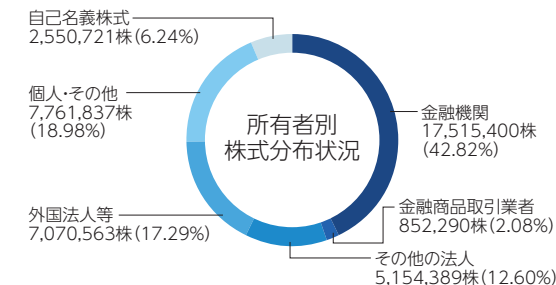
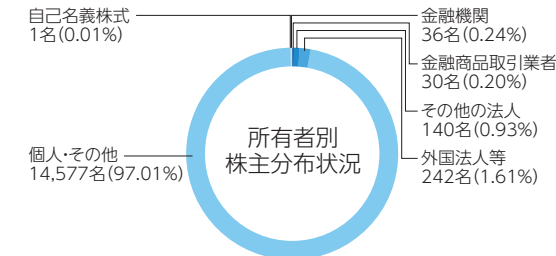
株主名	所有株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	4,338,600株	11.32%
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	2,722,300	7.10
株式会社三菱UFJ銀行	1,718,600	4.48
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,602,000	4.18
朝日生命保険相互会社	1,134,000	2.95
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,100,400	2.87
松竹株式会社	972,000	2.53
KOREA SECURITIES DEPOSITORY-SHINHAN SECURITIES	955,901	2.49
パイロットグループ従業員持株会	831,200	2.16
JP MORGAN CHASE BANK 380055	762,080	1.98

注) 1. 当社は自己株式2,550,721株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。なお、当該自己株式には、役員報酬BIP信託口が保有する当社株式65,400株は含まれておりません。  
2. 持株比率は、自己株式 (2,550,721株) を控除して算定しております。

## ≡ 株主メモ

事業年度	毎年 1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年 3月
基準日	毎年12月31日
中間配当基準日	毎年 6月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告方法 電子公告とし、当社ホームページ (<https://www.pilot.co.jp/>) に掲載いたします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。



## 株主の皆さまの 声をお聞かせください



当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではありますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスキー入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp> アクセスキー 7846nmzD

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクサスの提供する「コエキク」サービスにより実施いたします。アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」✉ [koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)

